

学校関係者評価委員会の評価結果を次のとおり報告します。

福岡県立三潴高等学校 学校関係者評価委員会  
委員長 森崎 巨樹 印  
委員 西田 鐘里 印 千代島 龍一 印 堀田

委員 西田 鐵男 印 幸代島 龍一 印 堀田 洋太朗 印 下川 達也 印

学校運営計画(4月)								評議会	
学校運営方針	(教育目標)	校訓の精神を踏まえ、本校の課題を常に念頭に置き、本年度のコンセプト「何事も全力でやるから面白い！」のもと、学ぶ意欲と規律正しい豊かな心を持つとともに、グローバル化した社会の一員で何事にも恵まず、逞しく活躍する姿を夢に描くことができ生徒の育成に努める。							
	(運営方針)	(1)学ぶ意欲や自尊心、向上心やチャレンジ精神を高め、グローバル化に適しく対応できる人材の育成 (2)生徒の特性に応じた明確な目標設定とそれを実現するための教科指導・進路指導の充実 (3)「時を守り、場を清め、礼を正す」を中心とした礼儀正しく思いやりのある生徒の育成 (4)「スポーツの三猪」：生徒と職員は基より、PTA、同窓会及び地域との連携強化を図り、一体となった教育活動の推進 (5)「チーム三猪」：生徒と職員は基より、PTA、同窓会及び地域との連携強化を図り、一体となった教育活動の推進 (6)「オンリー三猪」：これまでの伝統を生かした、ここでしかできない教育活動の推進 (7)創立百周年に向け、新たな魅力ある学校づくりと積極的な広報活動の推進							
昨年度の成果と課題	年度重要点標	具 体 的 目 標							
【成果】 進路実績、部活動、資格取得、ボランティア活動、生徒会活動など、生徒と教職員が一体となり活動を行い、その成果は素晴らしいものである。特に運動部は「スポーツの三猪」にふさわしい素晴らしい実績を残した。また、和太鼓部の地域への貢献は大であった。	「三猪高校ブランド」の実現に向けて進路								
【課題】 本校の最大の課題は、生徒募集の更なる充実を図ることである。全職員が当事者意識を持ち、情報の発信に努めるとともに、生徒の学校満足度向上に努めていく。	1 わかる授業による学力向上 (ICT教育の推進により、わかる授業を展開する)	・生徒の実態把握に努め、個々の学力向上を目指し、わかる授業の工夫改善 ・ICT機器とアクティブラーニングの手法をマッチングさせた授業の工夫改善 ・ICT機器に対するスキルアップ							
	2 進路実現に向けたキャリア教育の充実 (3年間を見通した具体的・系統的な実践)	・各学年での取組の明確化による、計画的なキャリア教育の推進 ・生徒一人ひとりのニーズを共有する場を設定し、進路実現に向けた体制の整備に努める。							
	3 豊かな心を持った自立した生徒の育成 (時間厳守・清掃の徹底、挨拶の励行)	・自分で考え行動する力を付けることで、当たり前のことが当たり前にできる生徒の育成を図る。 ・いいじめや差別のない人権教育の推進 ・「立ち止まり一礼」による挨拶の徹底及び、端正な服装・頭髪指導による規範意識の確立 ・SC、SSWの活用による教育相談体制の充実							
	4 魅力ある学校づくりの研究・推進 (地域に根ざした「三猪高校」の実現に向けて、学校全体で取組)	・地域行事等にボランティアとして積極的に参加するとともに、地域参加型の学校行事を企画し地域との交流を活発化させる。 ・地域の行政機関や大学との連携により、本校も地域振興の一端を担う。							
	5 「スポーツの三猪」の充実・発展 (「する・観る・支える・知る・極める」生徒の育成)	・スポーツ文化コースの特色を活かし部活動の競技力向上及び、学校全体の活性化と充実振興に努める。 ・健康教育と安全教育を推進する。							
	6 広報活動の充実と推進 (広報の創意工夫・PTAの改善・情報発信)	・全職員が中学校訪問を定期的に行い、学校全体で生徒募集に努める。 ・適宣、学校HPや三猪ニュース、三猪速報を発行し配布することで、本校の教育活動の積極的な広報に努める。							
	7 高大接続に伴う久留米大学との連携	・大学との協力関係を深め、高大接続を積極的に推進する。 ・大学生との協働活動をとおして、コミュニケーション能力の育成に努める。							
	8 青少年年齢の引き下げに伴う教育の充実	・青年年齢の引き下げに伴う状況変化を踏まえつつ、学校におけるキャリア教育を推進する。 ・青年年齢引下げを見据えた情報提供を適宜行い、発達段階に応じた消費者教育の充実に努める。							
評価項目	具 体 的 目 標	具 体 的 方 策	評 価 (3月)	次 年 度 の 主 な 課 題					
特色ある学校づくり	地域に根ざした学校づくりの推進	地域の行事に積極的に参加するとともに、PTA、地域を巻き込んだ学校行事を成功させる。	C	C	B	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を多大に受け、様々な学校行事、コース行事等を実施することができない状況であった。特に、高大連携、地域行事等の参加やボランティア活動等は、参加する機会が多くなく、地域との連携等の会場の設定ができるない1年間となった。次年度は、今年度の反省を課題とし、新型コロナウイルス感染症の影響が継続することを想定した、新たな地域との連携事業を創造し取り組んでいく必要がある。			
	「スポーツの三猪」を中心にした魅力ある学校づくりと活性化の推進	大学や地元企業との連携をとおしたカリキュラムの工夫をとおして、地域社会に貢献する人材育成を目指す。	C						
教務部	各教科でアクティブラーニングを活用した新しい授業方法の研究	各教科でアクティブラーニングを活用した指導法や教材について研究する。	A	A	A	新型コロナウイルス感染拡大による全国一斉の休業要請に従い、年度当初、オンライン授業(youtube動画)を配信し、生徒達が家庭で安全に勉強に取り組むシステムを初めて行った。十分な学力保証とまでは至らなかったが、各教科・科目で工夫を凝らし、いかにして分かりやすい動画をつくれば良いかについて検討を重ね、得られたいく形に作り上げることができた。学校が再開されてからは、生徒の欠席者数も少なく、ほとんどの生徒が久しぶりの登校再開に期待を膨らませ、意欲的に学習に取り組む姿勢が見られた。また、全教室に電子黒板が配置されたことに伴い、全ての教科で積極的なICT機器を使った授業が展開されるようになった。これにより生徒達の教科・科目に対する興味・関心も高まったのではないかと考える。			
ICT等の新しい指導法の研究と新たな経理システムの効果的活用	全教科・科目でアクティブラーニングを活用した効果的な授業が提供できるよう、授業研究に取り組み、全職員がアクティブラーニングを活用した授業に対する理解を深める。		A						
魅力あるカリキュラムの検討	観点別評価の評価基準・評価方法の明確化	観点別評価を実施するまでの各教科・科目毎の基準の明確化を図る。	A	A	A	令和4年度より実施される新学習指導要領の導入に伴い、教科会議、カリキュラム審査委員会、学校活性化委員会にて創立100周年の節目を迎へ、これからの中高生の更なる発展と生徒のニーズや進路状況を鑑み、新たにカリキュラムの作成に取り組んできた。その後、新たに設定した学校設定科目の教科書選定審査、さらに他の教科・科目の教科書選定会に取り組んでいた。これにより生徒達の教科・科目に対する興味・関心も高まったのではないかと考える。			
	新学習指導要領に向けたカリキュラムの検討	学習に対する興味・関心を高めるために、観点別評価に基づく授業改善に努める。	A						
学習状況の把握と指導	効果の上がる学習指導と落ち着いた環境での授業実践	新学習指導要領の導入に向けた具体的なカリキュラム編成の検討を行う。	A	A	A	令和4年度より実施される新学習指導要領の導入に伴い、教科会議、カリキュラム審査委員会、学校活性化委員会にて創立100周年の節目を迎へ、これからの中高生の更なる発展と生徒のニーズや進路状況を鑑み、新たにカリキュラムの作成に取り組んできた。その後、新たに設定した学校設定科目の教科書選定会に取り組んでいた。これにより生徒達の教科・科目に対する興味・関心も高まったのではないかと考える。			
広報活動の充実と創立100周年に向けた準備	ホームページや中学校訪問などの広報活動の充実と創立100周年に向けた準備	各教科でアクティブラーニングを活用した指導法や教材について研究する。	A						
広報活動の活性化	学校行事や部活動の様子をタイムリーに伝えられるよう、生徒と協力してHPに掲載する	新学習指導要領に向けたカリキュラムの検討を行う。	A	A	A	新型コロナウイルス感染拡大による全国一斉の休業要請に従い、年度当初、オンライン授業(youtube動画)を配信し、生徒達が家庭で安全に勉強に取り組むシステムを初めて行った。十分な学力保証とまでは至らなかったが、各教科・科目で工夫を凝らし、いかにして分かりやすい動画をつくれば良いかについて検討を重ね、得られたいく形に作り上げることができた。学校が再開されてからは、生徒の欠席者数も少なく、ほとんどの生徒が久しぶりの登校再開に期待を膨らませ、意欲的に学習に取り組む姿勢が見られた。また、全教室に電子黒板が配置されたことに伴い、全ての教科で積極的なICT機器を使った授業が展開されるようになった。これにより生徒達の教科・科目に対する興味・関心も高まったのではないかと考える。			
	ホームページの充実と同窓会の協力を得て、広報誌の配布や掲示する場を広げる。		A						
中学校対策の強化	中学校との信頼関係の構築をめざした中学校訪問を実施する。	新学習指導要領に向けたカリキュラムの検討を行う。	B	A	A	令和4年度より実施される新学習指導要領の導入に伴い、教科会議、カリキュラム審査委員会、学校活性化委員会にて創立100周年の節目を迎へ、これからの中高生の更なる発展と生徒のニーズや進路状況を鑑み、新たにカリキュラムの作成に取り組んできた。その後、新たに設定した学校設定科目の教科書選定会に取り組んでいた。これにより生徒達の教科・科目に対する興味・関心も高まったのではないかと考える。			
	中学生に三猪高校の良さを知ってもらう。	各教科でアクティブラーニングを活用した指導法や教材について研究する。	A						
地域創造コースとの連携	地域学での活動を広報活動に取り入れる。	新学習指導要領に向けたカリキュラムの検討を行う。	B	B	B	久留米大連携による高大連携による地理学が、本年度も新型コロナウイルス感染予防による臨時休業や三密の回避に伴い思うように実施できなかった。高大連携のみならず、地域行事に携わることもできず、様々な行事が中止となる中で、今後この新型コロナウイルスニュースが収束に向かうまでの不確定な期間をどのように授業を進めしていくか検討していく必要がある。			
生徒部	端正な制服の着こなしや落ち着いた身なりを自ら整えることができる。	地域創造コースとの連携をめざした中学校訪問を実施する。	A						
生徒の人間力の育成	生徒会行事を全員で協力してオンリーワンのものを創る。	新学習指導要領に向けたカリキュラムの検討を行う。	A	A	A	新型コロナウイルスの感染拡大の影響から生活様式が大きく変化し、生活環境もこれまで経験したことのないものとなってしまった。臨時休業や分散登校による生徒のコミュニケーションの減少生徒たちの心のケアに教職員も大きな不安を感じていた。また、5月25日以降の生徒の登校に際する感染予防のため、各教科・科目で工夫を凝らし、いかにして分かりやすい動画をつくれば良いかについて検討を重ね、得られたいく形に作り上げることができた。学校が再開されてからは、生徒の欠席者数も少なく、ほとんどの生徒が久しぶりの登校再開に期待を膨らませ、意欲的に学習に取り組む姿勢が見られた。また、全教室に電子黒板が配置されたことに伴い、全ての教科で積極的なICT機器を使った授業が展開されるようになった。これにより生徒達の教科・科目に対する興味・関心も高まったのではないかと考える。			
	時間厳守と挨拶の励行で風通しの良い人間関係作りを行う。	各教科でアクティブラーニングを活用した指導法や教材について研究する。	A						
安心、安全な環境づくり	いじめや問題行動の未然防止・早期発見に努め、的確な早期対応と組織的な対応を行う。	新学習指導要領に向けたカリキュラムの検討を行う。	A	A	A	新型コロナウイルスの感染拡大の影響から生活様式が大きく変化し、生活環境もこれまで経験したことのないものとなってしまった。臨時休業や分散登校による生徒のコミュニケーションの減少生徒たちの心のケアに教職員も大きな不安を感じていた。また、5月25日以降の生徒の登校に際する感染予防のため、各教科・科目で工夫を凝らし、いかにして分かりやすい動画をつくれば良いかについて検討を重ね、得られたいく形に作り上げることができた。学校が再開されてからは、生徒の欠席者数も少なく、ほとんどの生徒が久しぶりの登校再開に期待を膨らませ、意欲的に学習に取り組む姿勢が見られた。また、全教室に電子黒板が配置されたことに伴い、全ての教科で積極的なICT機器を使った授業が展開されるようになった。これにより生徒達の教科・科目に対する興味・関心も高まったのではないかと考える。			
	交通マナー・モラルの向上	各教科でアクティブラーニングを活用した指導法や教材について研究する。	A						
部活動の支援	計画的な活動と部活動生徒の支援体制強化	各教科でアクティブラーニングを活用した指導法や教材について研究する。	A	A	A	新型コロナウイルスの感染拡大の影響から生活様式が大きく変化し、生活環境もこれまで経験したことのないものとなってしまった。臨時休業や分散登校による生徒のコミュニケーションの減少生徒たちの心のケアに教職員も大きな不安を感じていた。また、5月25日以降の生徒の登校に際する感染予防のため、各教科・科目で工夫を凝らし、いかにして分かりやすい動画をつくれば良いかについて検討を重ね、得られたいく形に作り上げることができた。学校が再開されてからは、生徒の欠席者数も少なく、ほとんどの生徒が久しぶりの登校再開に期待を膨らませ、意欲的に学習に取り組む姿勢が見られた。また、全教室に電子黒板が配置されたことに伴い、全ての教科で積極的なICT機器を使った授業が展開されるようになった。これにより生徒達の教科・科目に対する興味・関心も高まったのではないかと考える。			
	生徒の間接的連携	各教科でアクティブラーニングを活用した指導法や教材について研究する。	A						
保健管理 安全管理	生徒保健委員会の充実と活性化	各教科でアクティブラーニングを活用した指導法や教材について研究する。	A	A	A	新型コロナウイルスの感染拡大の影響から生活様式が大きく変化し、生活環境もこれまで経験したことのないものとなってしまった。臨時休業や分散登校による生徒のコミュニケーションの減少生徒たちの心のケアに教職員も大きな不安を感じていた。また、5月25日以降の生徒の登校に際する感染予防のため、各教科・科目で工夫を凝			

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)